

献血のご案内

下記日程にて献血車が参ります
ぜひ、献血にご協力をお願いいたします

とき： 10月20日 (金)

13:00~16:00

ところ： 宮坂建設工業(株)

輸血を受ける患者さんの負担の少ない
400mL献血にご協力をお願いします

1. 献血基準と献血の間隔

400mL献血

●年齢/満18歳~69歳

65歳以上の方は、60歳以降に献血経験のある方に限ります。

- 体重
男女共50kg以上
- 次回献血までの間隔
男性12週間・女性16週間
- 年間総献血量
男性 1,200mL以内
女性 800mL以内

200mL献血

●年齢/満16歳~69歳

- 体重
男45kg・女40kg以上
- 次回献血までの間隔
男女共最低4週間
- 年間総献血量
男性 1,200mL以内
女性 800mL以内

※輸血の安全性を高めるため、上記400mL献血の基準に該当する方は

ぜひ、400mL献血にご協力をお願いします。

※服薬や当日の問診等により、献血をご遠慮頂く場合がありますことをご了承下さい。

2. 次に該当される方は 献血をご遠慮ください。

- エイズ検査を目的としている
- エイズウイルス感染の可能性がある
- 【エイズ感染早期(6~8週間)には現在の検査法では陽性と判定されず、その血液が輸血され患者さんに感染する危険があります。】
- 献血でB型、C型肝炎ウイルスキャリアの通知を受けている
- 過去に輸血や臓器の移植を受けている
- 海外旅行帰国後、4週間経過していない場合。その他海外渡航歴のある場合は、地域や期間により献血をご辞退いただく場合があります。



献血施設のご案内

- ✦ 北海道赤十字血液センター
〒063-0002 札幌市西区山の字2条2丁目3-37
休日/日曜日・祭日 ☎0120-50-6673
- ✦ 新さっぽろ献血ルーム
[地下鉄コンコース]
〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目
休日/d.mの定休日 ☎0120-25-5592
- ✦ 大通献血ルーム
[地下鉄コンコース]
〒060-0042 札幌市中央区大通西1丁目
休日/第3水曜日 ☎0120-63-8105
- ✦ アステ献血ルーム
[JRH札幌駅前 アステイ45ビル7F]
〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目
休日/土曜日 ☎0120-32-4545
- ✦ 室蘭出張所
北海道赤十字血液センター
〒050-0083 室蘭市東町1丁目20番42号
休日/日曜日・祭日 ☎0120-16-5454
- ✦ 北海道旭川赤十字血液センター
〒070-0817 旭川市川端町7条10丁目1番50号
休日/日曜日・祭日 ☎0120-55-9955
- ✦ 日赤西武献血ルーム
〒070-0031 旭川市後通町8丁目5番地6階(駅前)
休日/毎週火曜日 ☎0120-12-8343
- ✦ 北海道釧路赤十字血液センター
〒085-0002 釧路市新釧路町5番地
休日/日曜日・祭日 ☎0120-40-0907
- ✦ すずらん献血ルーム
〒080-0807 帯広市東7条南9丁目13-4
休日/日曜日・祭日 ☎0120-24-5125
- ✦ 北海道函館赤十字血液センター
〒040-0022 函館市日乃出町23番8号
休日/日曜日・祭日 ☎0120-03-7210

北海道釧路赤十字血液センター帯広出張所





<http://www.hokkaido.bc.jrc.or.jp/> TEL (0155) 25-0101

輸血用血液の種類

輸血用血液には、「赤血球」、「血漿」、「血小板」、「全血」があります。

以前は採血されたままの血液、すなわち全ての成分を含んだ「全血」の輸血が主流でした。現在では、血液を遠心分離し、血液を赤血球、血漿、血小板の3種類の成分に分け、患者さんが必要とする成分だけを輸血する「成分輸血」が主流となっています。「成分輸血」は、患者さんにとって不必要な成分が輸血されないため、循環器(心臓や腎臓など)の負担が少なくてすみます。医療機関への全供給数のうち、「全血」は全体の約1%でしかなく、「赤血球」、「血漿」、「血小板」が約99%を占めています。

■輸血用血液一覧表(一部抜粋)

赤血球		●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間	出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。
けっしょう 血漿		●保存温度 -20℃以下 ●有効期間 採血後1年間	血液凝固因子、特に複数の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。
血小板		●保存温度 20~24℃ ●有効期間 採血後72時間以内 ●要振とう	血小板数の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。
全血		●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間	大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。

■生化学検査(献血者全員)

検査項目	説明
ALT (GPT)	肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も強く上昇し、慢性肝炎や脂肪肝(肥満)などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。
AST (GOT)	心筋や肝臓に多く含まれ、骨格筋、腎臓、血球にも認められる酵素です。心筋梗塞や急性肝炎、アルコール性肝障害などで上昇します。その他運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。
γ-GTP	肝、胆道、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患は閉塞性黄疸、肝炎、アルコール性肝障害などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く、1ヵ月位禁酒するとある程度正常化します。
総蛋白 T.P	血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。
アルブミン ALB	血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリーニングとして大きな意味があります。
アルブミン対グロブリン比 A/G	血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にありますが、病気によってはその比率が変化(主として減少)してきます。
コレステロール CHOL	血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を続けていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆道、腎、甲状腺の病気でその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起こしやすいとされています。

■血球計数検査(成分献血・400mL献血者)

検査項目	説明	
赤血球数 (RBC)	赤血球は血液の主な細胞成分で、酸素を肺から各組織へ運ぶ働きを持っています。	貧血の有無を知る目安となります。
ヘモグロビン量 (Hb)	血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン(血色素)によるもので、赤血球の働きの中心となっています。	
ヘマトクリット値 (Ht)	ヘマトクリット値は、一定の血液量に対する赤血球の割合(容積)をパーセントで表したものです。	
平均赤血球容積 (MCV)	赤血球1個の平均的容積、すなわち赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。	貧血の場合、その種類の判定の目安となります。
平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)	赤血球1個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。	
平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC)	赤血球の一定容積に対するヘモグロビン量の比をパーセントで表したもので、ヘモグロビン量とヘマトクリット値から算出したものです。	
白血球数 (WBC)	白血球は細菌などを貪食し、免疫情報を伝達し、さらに免疫能を発現して生体防御にかかわっています。細菌感染症があると一般に白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。	
血小板数 (PLT)	血小板は出血を止めるための重要な働きを持ち、この値が極端に減少すると出血を起こしやすくなります。	

献血にご協力いただいた方に7項目の生化学検査をまた、400mLの献血をご協力いただいた方に8項目の血球計数検査結果をあわせてお知らせいたします。